帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

情報メディア概論
情報メディアと職業(2)

中野秀男
情報メディア学科/ICTセンター長

今日の話

- 中野の13,14回の担当について
  - 職業
  - キャリア
  - 情報と職業
  - 資格
- 旬のURL: IPAの資格の問題と解答
- 昨年の大学基礎講座の中野の担当
  - なれる自分(社会での活躍)
  - ボランティア

帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

スケジュール(1)

- 4月11日：講義の進め方等のガイダンス 戸上、中野
- 4月18日：iPad Miniの使い方
- 4月25日：情報メディアとツールの歴史、今、未来 中野
- 5月2日：情報メディアとツール(1) 中野
- 5月9日：情報メディアとツール(2) 中野
- 5月16日：情報メディアとツール(3) 中野
- 5月23日：情報コンテツとデザイン(1) 小幡
- 5月30日：情報コンテツとデザイン(2) 小幡
- 6月6日：情報コンテツとデザイン(3) 小幡

帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

スケジュール(2)

- 6月13日：メディアコミュニケーション 小松
- 6月20日：ソーシャルメディア(1) 小松
- 6月27日：ソーシャルメディア(2) 小松
- 7月4日：情報メディアと職業(1) 中野
- 7月11日：情報メディアと職業(2) 中野
- 7月25日：まとめ,ミニレポート 戸上、中野

質問やコメントへの回答(1)

- なぜ働かないといけないの回答に納得
- 会社に固定の机がないとか、自宅で仕事とか
- 日本の雇用制度とアメリカの雇用制度
- 在宅勤務は子供のいる人には便利。保育園など
- オーディオロジストとは
- 北欧の話。国によって色々
- 働くことで得るのは金だけだと思っていた。

質問やコメントへの回答(2)

- 情報メディアで将来どのような職業に就くかは不安
- 話をするだけで仕事が終わる時代は来るか
- ロボットが普及すると整備士が増える
- 人工知能はどこまで人間に近づくか
- Youtuberは在宅勤務か
- 大学入ってすぐに職業の話は重い
- 職業が変わるので学校の形態も変わるのか
- やりがいの感じられるような職業につきたい
- 交流を深くしたい

質問やコメントへの回答(3)

- 今からどんな職業に就くかを考えるのは大変
- 何を生き甲斐にするのかが印象に残った。
- アメリカはとてもシビア
- SEも業界が厳しくなっている
- 機械やAIを使うのではなく利用しあったり共存
- 日本やアメリカ以外の求人は
- 消える職業についたい人に失礼
- 消える職業もあれば増える職業もあるのか
- 消えていく職業が多くて将来が心配
- 消える職業が多い

質問やコメントへの回答(4)

- 日本は働きすぎるイメージがある。
- Apple Watch便利。電話が通知される。
- Apple製品を使いこなしたい。
- 良い会社に入りたい。
- ベンチャー企業に行くにはどうすれば
- アメリカ人のつきたい職業にIT系が多い
- ノルウェーは安定しているけど金持ちには辛い
- ITにもいっぱい職業がある。
- 自分が好きなことで働いている人は少ない。

質問やコメントへの回答(5)

- たくさんの資格を取りたい
- 資格の取り方や種類を詳しく
- 資格はどこで取れるか
- 資格の優先度
- 教職をとっていても他の資格は必要か
- MOSの試験では早く打てないとダメか
- MOSは独学で合格は可能か
- MOS以外に簡単に取れる資格は
- MOSやシスコの資格に興味
- WordやExcelのMOSの内容はどんな感じですか？

質問やコメントへの回答(6)

- IT企業以外に就職する場合も資格は必要か
- ITパスポートの難易度は
- ITパスポートのお勧めの本は
- ITパスポートと関連のある科目は
- 1回生のうちにITパスポートは取った方がいいか
- ITパスポートの試験は年1回か
- 応用情報技術の資格は必要か
- 情報セキュリティマネジメント資格も取ってみたい。

昨年の中野担当の大学基礎講座から

- なれる自分(社会での活躍)
- 就職
  - 大企業では50前後で肩たたきがある
  - 中小企業について
  - ベンチャー企業や零細企業を考える
- 考え方
  - 暮らし、仕事、ボランティア
- ボランティア、NPO と企業
- ITコミュニティについて
  - WINC:関西のインターネットを立ち上げた経験から
  - KOF:ITコミュニティの甲子園の実行委員長を10年以上やって
  - KOF2014ブースのITコミュニティ等

仕事

- 仕事
  - 情報メディアの仕事
  - 情報メディアが役にたつ仕事(業種、職種)
- 日本の年功序列終身雇用
  - 定年制
- アメリカ型求人(Job Offer)
- 3年で3割が辞める(新古卒)
- 何をいきがいにするか
  - やりたい事が仕事で、それで稼げる　のがベスト
  - そうでないときはどうする

ボランティア

- WINC
  - 1993年に関西初のプロバイダを、ほぼボランティアで立ち上げ
  - それまでは大学や企業のボランティアでインターネットが
  - お金を回す努力(キャッシュフロー)
- KOF
  - 関西オープンフォーラム
  - オープンソースソフトウェアのコミュニティの甲子園
    - 2002年から年に一度、大阪でイベント
  - 実行委員はボランティア
  - OSC(オープンソースコンファレンス)として全国に展開
  - 手弁当と企業の参加

KOFブースのITコミュニティ等(1)

- OS
  - NetBSD, PepoLinux, おーぷんここん, Netwalker実験所
  - 関西Debian勉強会
- Ruby
  - Ruby関西,
- CMS
  - シラサギ, 日本Contaoの会, concrete5関西ユーザグループ
  - Drupal User Group, Net Commons関西
- iOS
  - Cocoa勉強会関西, iPhoneプログラミング勉強会京都
- Google
  - GDG京都

KOFブースのITコミュニティ等(2)

- Office
  - LibreOffice日本語チーム
- SNS
  - OpenPNE 2 CE
- データベース
  - 日本MySQLユーザ会関西支部, Firebird日本ユーザ会
  - 日本PostgreSQLユーザ関西支部
- ロボット
  - ホビーロボット研究会, 京都クリエイティブワークショップ
- その他
  - ぺったんR開発チーム, 9VA-pi, EC-CUBE, GitHub

情報ツール系の資格

- 資格
  - 国家資格とベンダー資格
  - 資格の有効期限
- 国家資格
  - 基本情報技術者、応用情報技術者
  - ITパスポート
  - 情報システム、データベース、セキュリティのスペシャリスト
  - 情報セキュリティマネジメント
    - 今年(訂正)から始まる情報セキュリティのITパスポート的な資格)
- ベンダー資格
  - マイクロソフト: MOS(Word, Excel, Powerpoint, Access)
  - シスコ：ネットワーク資格 CCNA, CCENT

情報処理技術者の国家試験(1)

- ITを利活用する者
  - ITパスポート試験
  - 情報セキュリティマネジメント試験
- 情報処理技術者(ベンダ側/ユーザ側)
  - 基本情報技術者試験(FE)
  - 応用情報技術者試験(AP)
  - 更に上位の試験

情報と職業(オーム社)

- 1.情報社会と情報システム
- 2.情報化によるビジネス環境の変化
- 3.企業における情報活用
- 4.インターネットビジネス
- 5.働く環境と労働観の変化
- 6.情報社会における犯罪と法整備
- 7.情報社会におけるリスクマネジメント
- 8.明日の情報社会

働く環境と労働観の変化(1)

- 働く環境の変化
  - 企業のアイデンティティ
  - 個人のアイデンティティ
  - 専門性の向上と資格取得
    - 各業務のスペシャリスト(専門職)に vs ジェネラリスト(一般職)
  - 人事制度の変化
  - ビジネスのグローバリゼーション
    - vs 地域に特化したローカリゼーション
  - ビジネスのスピード化

働く環境と労働観の変化(2)

- 職場環境の変化
  - 在宅勤務
  - SOHO: Small Office/Home Office、サテライトオフィス
  - モバイルオフィス
  - コワーキング、コワーキングスペース
  - 自分の机のない職場
  - ラーニングコモンズ
- 仕事内容の変化
  - 販売員の存在意義
  - 中間管理職の存在意義：運用部門/会社と開発企画部門/会社
  - 電子メールやグループウェアによる社内コミュニケーション

働く環境と労働観の変化(3)

- 職場での情報リテラシー
  - パソコンでの文書管理能 → デザインや映像にも
  - パソコンのシステム管理 → クラウド利用とPC、タブレット、スマホに
- 情報化による業務内容の変化
  - 鉄道の改札業務
  - 銀行の窓口業務
  - 旅行代理店
- 企業の情報化と求められる人材の変化
  - 情報システムに対する基礎的な知識を将来を読む力
  - 企画提案力
  - プロジェクトを管理する力
  - 業務改善のための高い視点

キャリアの探索と形成(1)

- キャリアを考える
- 1.自己探求
  - 自己理解、発達過程、能力開発
- 2.環境の検討
  - 仕事理解、組織理解
- 3.調和・意志決定
  - 目標設定、組織適応
- 4.行動
  - 機会開発、関係形成、変化対応

キャリアの探索と形成(2)

- ライフステージ論(ドナルド・スーパー(1910-1994))
  - 成長期
  - 探索期：14歳から25歳
  - 確立期：25歳から45歳
  - 維持期
  - 下降期(解放期)
- キャリアの定義(辞書)
  - (一生の)経歴、生涯、履歴
  - 生活手段：(生涯の、または専門的な)職業
  - (職業での）成功、出世
  - 進路、経路

キャリアの探索と形成(3)

- キャリア定義の4分類(Hall, 1976)
  - 昇進・昇格の累積としてのキャリア(地位・出世)
    - 組織のなかで
  - 専門職業としてのキャリア(専門職業)
    - 法律家、医師、学者、牧師
  - 生涯を通した一連の仕事としてのキャリア(職業経験)
    - 職業経験を通してのキャリア
  - 生涯を通じた様々な役割経験としてのキャリア(役割経験)